

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	327	知的障害者地域生活援助事業	01	01	一般会計
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	03	03	民生費
			01	01	社会福祉費
			04	04	障害福祉費
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		105	105	支援費制度事業
作成者氏名	福永 保	連絡先	45-1016	02	居室生活支援費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	15歳以上の知的障害者であって、グループホームの入居を必要とする者	知的障害者の自立生活を助長する
本年度事業内容	知的障害者が、食事提供等の生活援助体制を備えた施設(グループホーム)で、共同生活を営むことにより、地域の中での知的障害者の自立生活を図る。伊賀市社会福祉協議会への委託事業。	
根拠法令・要綱等	知的障害者地域生活援助事業実施要綱	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,733	5,522	5,522
需用費			
負担金補助			
委託料	4,733	5,522	5,522
扶助費			
合計(A+B)	5,453	6,242	6,242
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,453	6,242	6,242
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
入居者数(定員5名)	人	5	5	5			

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用率100%で十分な事業効果が見込まれる。 ・18年度から指定管理者制度により伊賀市社会福祉協議会へ運営を委託する。

評価	達成度	4	障害者の自立という事業目的は利用率や生活実態からみて十分に果たされている。
	効率性	4	当面、社協への指定管理委託を実施する中で、新しい法律での適正な事業形態への移行に伴う事業費の見直しを行う必要がある。